

高齢運転者ミーティング

直轄事業

実施目的

近年増加傾向にある高齢運転者の交通事故防止対策として、警察本部と連携しセーフティ・サポートカーの乗車体験や運転適性検査等を組み込んだ参加体験型の講習会を実施することにより、加齢による身体機能の変化を自覚させるとともに、衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術搭載自動車の交通事故防止有効性を周知して乗り換えを促し、高齢運転者の交通事故防止を図る。

実施場所

県内各施設（※1）

対象者

県内の高齢運転者

開始年度

平成30年

予算

0 千円

実施内容

（事業内容）

警察本部、自動車販売店協会、交通安全協会、県等が連携し、各警察署（県内16署）管内においてそれぞれ年間1回、地域の高齢者を集めて講習会を実施する。

（実施方法）

- ①セーフティ・サポートカーの乗車体験
- ②運転適性検査の実施
- ③警察署交通課員による交通安全講話
- ④交通安全啓発品（反射材等）の配布
- ⑤その他、反射神経測定機による身体機能チェック等

（※1）県内の指定自動車教習所、警察署、公民館等で実施。

URL

高齢者・初心者しあわせドライブ

直轄事業

実施目的

日常的に自動車又はバイクを運転する高齢者及び初心運転者を中心に無事故・無違反を目指すコンテストを実施し、高齢者と初心運転者の交通事故防止を図る。

実施場所 県内

対象者 運転免許保有者（※1）

開始年度 平成29年

予算 200 千円

実施内容

県内在住の65歳以上または初心運転者のいずれか1名以上を含む3人1組でチームを組み、実施期間中の無事故・無違反を目指す交通安全コンテスト。

期間終了後、無事故・無違反達成チームを対象として県内温泉宿泊券、県内特産品詰め合わせセットを贈呈する。（達成チーム多数の場合は抽選により贈呈チームを決める）

今年度は、特別枠として県内に所在する同一の高校等へ自転車で通学する高校生3人1組のチームを参加条件として設定した。

（実施方法）

- ①募集期間 令和8年5月20日～7月3日
- ②応募方法 参加申込書に必要事項を記入し、道路管理課に提出する
- ③無事故・無違反達成等報告期限 令和9年1月中（予定）
- ④抽選結果発表 令和9年3月上旬（予定）
- ⑤賞品の費用は県交通安全協会と県トラック協会からの協賛金で賄う

（※1）県内在住者又は県内に勤務する運転免許保有者が対象。

URL

<https://www.pref.gunma.jp/page/756732.html>

高齢者運転免許証自主返納サポート事業

直轄事業

実施目的

高齢者が運転免許証を自主返納することにより生じる生活への影響を補うサポート等（公共交通機関の利用支援や買物弱者支援等）を通じて、高齢者の運転免許証自主返納を促進し、高齢運転者の交通事故防止を図るもの。

実施場所 県内

対象者 高齢者（※1）

開始年度 平成29年

予算 0 千円

実施内容

県において、自主返納者に対して市町村、事業者、団体等が実施する支援事業を集約し、県ホームページに掲載することで、支援事業の周知及び自主返納啓発を図る。

（※1）県内の運転免許証を自主返納した高齢者が対象。

URL <https://www.pref.gunma.jp/page/3211.html>

群馬県交通安全大会

直轄事業

実施目的

交通安全に携わる関係者が一堂に会して、多年にわたり交通安全に貢献し、顕著な功績があった方々を表彰して感謝の意を表すとともに、交通事故のない安全で安心な交通社会の実現を目指し、関係機関・団体が緊密に連携して交通安全活動を実施するため。

実施場所 県内施設（※1）

対象者 交通安全関係者（※2）

開始年度 昭和59年

予算 224 千円

（事業内容）
表彰式

（実施方法）
県知事表彰及び県警本部長・県交通安全協会理事連名表彰を実施する

（※1）人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで実施。

（※2）交通安全に携わる関係者一同及び交通安全関係表彰受賞者が対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通事故分析・対策検討チーム（GTAP：ジータップ）の編成

直轄事業

実施目的

交通安全に関する所属の担当者や、庁内公募メンバーにより編成したチームで、社会的反響が大きい交通事故が発生した場合などに、事故の分析、従来の手法にとらわれない施策等の提案を行う。

実施場所 県庁内（※1）

対象者

開始年度 令和3年

予算

0千円

実施内容

当県の中高生1万人当たりの通学時における自転車交通事故の発生件数は、全国ワースト上位が続いており、このような状況を打破するため、新たな視点により交通事故の分析や交通事故減少に向けた多様な対策の検討などに取り組む。

（※1）必要に応じて招集し、分析、対策を検討する。

URL

交通指導員活動促進費補助

補助事業 各市町村

実施目的

交通指導員による交通安全啓発活動の活性化を図るため、新規交通指導員を任命した自治体に対して、支援を行うもの。

実施場所

対象者

市町村（※1）

開始年度

昭和43年

予算

3075 千円

実施内容

対象市町村に対し、新規交通指導員への制服代1人当たり37,500円を上限に補助

（※1）交通指導員を新規採用した市町村が対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

スケアード・ストレイト教育方式による自転車安全教室

委託事業 スタント会社

実施目的

当県の高校生1万人当たりの通学時における自転車交通事故発生件数は、全国ワースト1位が続いていることから、スタントマンを活用したスケアード・ストレイト教育方式による自転車安全教室を実施することで、高校生の交通安全ルール・マナーの向上と、交通安全意識の高揚を図る。

実施場所 県内の高校6校

対象者 高校生

開始年度 平成23年

予算 2013 千円

実施内容

スタントマンを活用したスケアード・ストレイト教育方式による交通安全教育を実施する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

高校生自転車交通安全動画コンテスト

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

高校生による動画作成を通じ、高校生自身が自転車の交通安全について考える機会とするとともに、作成された動画のうち優秀作品を表彰の上、群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」で配信することで県民の交通安全意識の高揚を図る。

実施場所

対象者

高校生

開始年度

令和2年

予算

119 千円

実施内容

（事業内容）

高校生が作成した自転車の交通安全動画のコンテスト

- 賞品 グランプリ （1作品）商品券10万円分
- 準グランプリ （1作品）商品券5万円分
- 審査員特別賞 （4作品）商品券1万円分

（実施方法）

- ① 募集期間 令和8年8月1日～10月31日
- ② 応募方法 検討中
- ③ 審査 令和8年10月中（予定）
- ④ 表彰 令和9年1月中（予定）
- ⑤ 動画配信 令和9年1月中（予定）
- ⑥ 賞品の費用は（公財）佐藤交通遺児福祉基金からの協賛金で賄う

URL

<https://www.pref.gunma.jp/page/760287.html>

自転車通行環境の整備

直轄事業

実施目的

当県の中高校生1万人当たりの通学時における自転車交通事故の発生件数は、全国ワースト上位が続いていることから、中高生の自転車交通事故の削減を目指し、県管理道路における中高生の通学経路を整備するもの。

実施場所

中学校・高校の通学路

対象者

開始年度

令和2年

予算

実施内容

（事業内容）

県管理道に自転車道、自転車通行帯、矢羽根型路面標示を整備していく

（実施方法）

各土木事務所において工事を発注し実施する

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

靴用反射シールの直接貼付活動

直轄事業

実施目的

高齢歩行者の交通事故防止

実施場所

県内

対象者

県内在住高齢者

開始年度

令和2年

予算

193千円

実施内容

（事業内容）

県警が実施した反射材に関するアンケートの結果、着用しない理由として「面倒くさい、忘れた、もらった後しまってそのまま」などという理由が多く見られたため、靴用反射シールを単に配布するのではなく、普段履きの靴に同意を得て直接貼付けしてしまうことで、一度貼付けすれば外出時忘れることなく着用することに着目し、県が靴用反射シールを購入し、県警と連携して着用促進を図るもの。

（実施方法）

購入した反射材を警察に提供して、すでに警察が推進している「75歳以上の高齢者宅個別訪問活動」及び「街頭における乱横断等の危険な行動をしている高齢者指導活動」と連動して、靴用反射シールの直接貼付活動を実施する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

自転車活用推進啓発チーム（GMET：ジーマット）による啓発

直轄事業

実施目的

県民の自転車ヘルメット着用等を促進し、交通事故防止を図るため、県職員による啓発チームを編成し、県職員の率先着用を推進するとともに、自転車保険加入、通行マナーなどについて啓発を行うもの。

実施場所

県内

対象者

県民

開始年度

令和 3 年

予 算

99 千円

実施内容

庁内各部局から募った16名により結成したチームを、3チームに分けて活動し、県警、市町村、学校、企業等と連携して実施場所等を設定し啓発活動を行っている。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生チャイルドシート
シートベルトイ 啓
ベ 発
ン 運
ト 動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲酒
運転
根絶そ
の
ほ
か

出会い頭防止プロジェクト

委託事業

実施目的

当県の中高生1万人当たりの通学時における自転車交通事故の発生件数は、全国ワースト上位が続いている状況を受け自転車の交通事故について分析したところ、自動車との出会い頭事故が多くの割合を占めていることから、交差点における自動車との出会い頭事故抑止のため自転車利用者だけではなく、自動車運転者に対しても自転車交通事故防止の啓発を行う。

実施場所

県内

対象者

県民

開始年度

令和7年

予算

27500 千円

実施内容

（事業内容）

県内で自転車交通事故の発生が多い前橋市、高崎市を中心として、県警察、県安全協会、学校と連携して、自転車と自動車の出会い頭事故防止を主体とした交通事故防止啓発活動を展開する。

（実施方法）

- ①街頭指導キャラバン隊を編成し、プラカード等を効果的に活用した啓発活動の実施
- ②ドライバーをターゲットとしたあらゆるメディアを活用した広報活動の展開
- ③自転車通学時の昼間ライト点灯試行のためモデル校へのライト配布実施

URL

<https://www.pref.gunma.jp/page/738825.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全標語コンクール

直轄事業

実施目的

広く「交通安全標語」を募集することにより、県民の交通安全意識を高揚し、交通事故防止を図る。

実施場所 県内

対象者 県民

開始年度 令和8年

予算 470 千円

実施内容

(事業内容)

県内に在住している者、県内に勤務している者又は県内に就学している者で、募集区分ごとに要件を満たす者。

- 小学生の部
令和8年9月30日現在、県内の小学校に通う者。
- 中学生・高校生の部
令和8年9月30日現在、県内の中学校・高校（これに相当する教育校等含む）に通う者。
- 高齢者の部
令和8年9月30日現在、65歳以上の者
- 一般の部
上記1～3に該当しない者

最優秀賞は翌年以降の交通安全運動年間スローガンとして採用される。

その他入選作品については、交通安全運動サブスローガンやその他啓発活動のスローガンとして使用する。

入選作品に対しては賞揚を行う。

URL

<https://www.pref.gunma.jp/page/755477.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反教材

飲酒
運転
根絶

その他